

第四号

あ
ら
う



おだ

しんいち

小田真一の恩返し

討議資料

小田真一が目指す「ありがとうのまち」とは

1 生きがいと健康があふれるお年寄りに優しいまち

2 地域が育てた元気な大井っ子のまち

3 いざ!という時に強い、防災のまち

4 もったいない!埋もれた地域資源に光が当たるまち

5 町民全員参加による協働のまち

Q&A

Q 生きがいと健康づくりのためにはなにができる?



A 共につどえる場所と仕組みが必要です。そのために自治会や地域の福祉団体との連携のお手伝いをします。1人暮らしでも安心できる仕組みを作ります。

Q 子育て、教育の具体的施策は?



A ① 子育て世代の交流の場としてカフェレストランを開設します。
② 校庭・園庭を芝生化し、元気な大井っ子を育てます。大切な芝生の管理もみんなで協力すれば、また新しい出会いも。
③ 中学生に海外留学や国際交流のチャンスを与えます。のびのび育った国際感覚豊かな大井の人材育成を目指します。

Q&A

Q 防災のまちづくりのため、先ずやることは?



A ① 各自治会に専任職員を配置し、町との連携を強化します。
② 福祉避難所を設置して災害弱者を守ります。
③ 緑の生垣づくりを強力に推し進め、ブロック塀の危険除去と町の景観向上を目指します。

Q 地域資源の活用や発展のためにできる事って?



A ① 大井町、特に相和地区にはたくさんの伝統文化が息づいています。これを大井町の宝として守り育てます。
② 捕獲された有害鳥獣（イノシシ・シカ）の処理施設を県内に先がけて開設します。適正処理された肉を学校などでの食育材料としたり、ジビエ料理として活用し、町おこしに役立てます。

Q 協働のまちづくりって?そして財源は?



A ① 町民・地域団体・町がしっかりと手を組んだ町づくりを進めるため「協働推進室」を新設します。
② また*「新しい公共」の考え方を取り入れ、既存のまちづくり活動団体のネットワーク化や全員参加型の町づくりを進めます。
③ 町の公共施設や設備の見直しを行い、*「クラウドファンディング」のような新しい資金調達方法も取り入れます。

*新しい公共
人と人が支えあい互いに役立ちあうこと。人を支える役割を「官」だけが担うのではなく、社会全体として応援しようとする新しい価値観
*クラウドファンディング
特定事業に対し、インターネットを利用した不特定多数からの資金調達



プロフィール 小田 真一 (65歳)

学歴

神奈川県立小田原高等学校卒業
明治大学経営学部経営学科卒業

行政関係の主な経歴

大井町議会 議長
大井町議会議員 4期
大井町監査委員
足柄上郡議長会 会長
神奈川県町村議会議長会 副会長

その他主な経歴

大井町立大井小学校 PTA 会長
社団法人あしがら青年会議所 理事長
大井町商工振興会青年部 部長
大井町消防団 (第一分団)
大井町青少年指導員

主な所属団体

明治大学マンドリン倶楽部 OB 会
小田原高校剣道部 OB 会
小田原法人会
足柄上商工振興会
あしがら青年会議所シニアクラブ
明治大学校友会小田原地域支部
金手ふくしの会
(有)小田商事 役員

家族

妻・子2人・父・母・盲導犬ディート

趣味

海釣り／音楽鑑賞
マンドリン・チェロ演奏
(明治大学マンドリンクラブ OB)



後援会役員

会長：田中 清
副会長：長尾 一郎
会計
責任者：小田 幸子
役員：堀江 進 牧野 一仁
寺林 紀夫 石黒 愛子
藤澤 一郎 重田 有紀
田中美代子 高橋 和久
中根 三郎



皆さまのご意見・ご要望をお待ちしております。



ホームページURL：<https://odashin.com/>

発行：小田真一 後援会

住所：大井町金子550-1

電話番号：0465-83-5453

発行責任者：田中清

